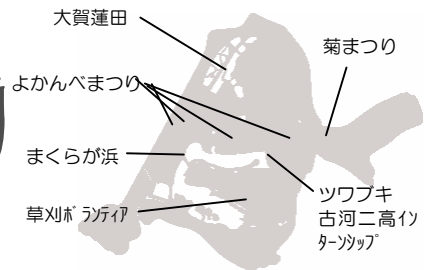


古河総合公園だより

発行日：2001年11月10日 編集：古河総合公園パークマスター 発行者：(財)古河市公園緑地振興協会
住所：〒306-8601古河市長谷町38-18 E-mail：sogokoen@city.koga.ibaraki.jp



11月中旬～

結実の秋として、冬の蓮田に

大賀蓮田

実をいっぱいにつけて頭を垂れる大賀蓮。大粒の実を蓮田にこぼし終わりました。11月中旬頃には、花殻、茎、幹を一斉に刈り取ります。



風に吹かれて、ブラブラ、カサカサ♪
刈り取り前の蓮田には、晩秋の音。



「果托 (カタク)」と呼ばれる蜂の巣状の穴の中で実が熟します。多いもので30程の実が付きます。



11月中旬～

水の湧き出す砂浜を復元します

まくらが浜

完成から6年経った、まくらが浜。草地化が進んでシバの仲間やヨシに覆われてしまった砂浜を復元します。

工事中は、ご協力よろしくお願いします。



工事の大まかな手順は、以下の通り。①10～15cm程の表土の除去、②ガスバーナーで残った根の焼却、③新しい砂の搬入。



かつては、水が湧き出る砂場としてチビッコに人気だった「まくらが浜」(平成11年3月撮影)

◆古河総合公園 花ファイル NO.12◆

●ツワブキ●

[科名] キク科、常緑樹

[樹高] 30～75cm程

[花] 黄色

[花期] 10～12月

葉に光沢があるフキの意味の艶蕨がなまってツワブキになったと言われる。ツワブキは、初冬の季語。葉殻は、フキと同じように、きゃらぶきにして食べられる。

性質は丈夫で、適湿地から乾湿地、半日陰地から陰地まで適応する。

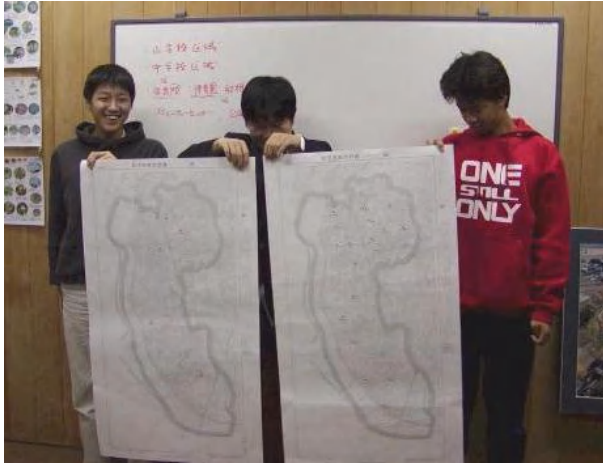




10月17・18日(水・木)

管理棟

初登場!ふるさとインターンシップ



市内のコミュニティ施設を記した図面づくり。鈴木良彦君、廣瀬健二君、諏訪繁之君、お疲れ様でした。

「学生時代に地域の産業や職業を体験を通して知ることが、将来の生き方や進路を考える上で有意義」と、去年から始まった職場体験プログラム。古河総合公園での受け入れは、今年が初めて。

草刈、ゴミ拾いでは、通常公園を管理しているシルバー人材センターの方と一緒に作業しました。

主催/古河第二高等学校 協力/都市整備課



11月3・4日(土・日)

中央入口~御所沼原

秋の定番は 菊とよかんべまつり



キャベツ 100円、物産のお店也大賑わい
主催/古河よかんべまつり実行委員会



菊まつり開催中(10月25日~11月20日)。力作ぞろい、手塩にかけた秋の色

主催/古河市観光協会 主管/菊まつり実行委員会



10月9日(月)

梅林

いい汗かきました 草刈ボランティア



梅林の草刈は、去年から。草刈機持参の方もいらっしゃいました。

約30名が参加。2時間程で、梅林の約半分を刈りました。「良い運動になった。お弁当がうまい！」(参加者)

主催/古河ライオンズクラブ、古河東ライオンズクラブ



☆市民探鳥レポート第7弾☆

コゲラ

コゲラはキツツキの仲間。スズメ程の大きさで背中中は、白黒の横縞。「コツコツ」大きな音をたてながら木を突ついたり、「ギィ」と鳴きながら他の木や枝へ飛び移る。公方様の森や、桃林あたりでこんな音を耳にしたら、目をこらしてみよう。そーっと近づけば、4メートル程の間近で見られることもできる。なお、市内でも繁殖していると思われる。



公園では、人気の少ない冬期によく見かける。公方様の森で、朽ち木や高木の幹に穴が開いていたら、コゲラの仕業かもしれません。

投稿/小松崎清さん(市内在住、日本野鳥の会)

撮影/パークマスター

◆投稿 お待ちしております◆

古河総合公園だよりは、「読者参加型」のニュースレターです。公園で出会った面白情報、みなさんに伝えたい素敵な情報等、ドシドシお寄せ下さい。

〒306-8601 古河市長谷町 38-18 (財)古河市公園緑地振興協会「古河総合公園パークマスター」